

令和3年度～令和7年度

辺地総合整備計画書

岩手県二戸市

別記様式

総合整備計画書

岩手県二戸市 山屋 辺地
 (辺地の人口 66人 面積 7.5k m²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
 釜沢字霧ヶ久保、小沼、山屋、新田
- (2) 辺地の中心の位置
 釜沢字山屋 1 1 2 番地
- (3) 辺地度点数 130 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

山屋辺地は、二戸市中心部から 12km のところにある河川沿いの急峻な丘陵に囲まれた山間地である。公共交通路線から距離があるため、移動には自家用車が多く利用されているが、日常生活に不便をきたしており、地域住民の交通手段を確保するために自動車整備の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度 から 令和 7 年度 まで 5 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
自動車	二戸市		4,000		4,000	4,000
合計			4,000		4,000	4,000

別記様式

総合整備計画書

岩手県二戸市 大萩野 辺地
 (辺地の人口 146人 面積 11.0k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

福岡字大萩野、作ヶ久保、夏間木、繫、蝦夷森、高場、槻木平、織詰、日ノ沢、船田、天満ノ上

(2) 辺地の中心位置

福岡字大萩野 239 番地 9

(3) 辺地度点数 157 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

大萩野辺地は、二戸市中心部から 9 km のところにある集落が散在する山間地域である。公共交通路線から距離があるため、移動には自家用車が多く利用されているが、日常生活に不便をきたしており、地域住民の交通手段を確保するために自動車整備の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度 から 令和 7 年度 まで 5 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
自動車	二戸市		4,000		4,000	4,000
合計			4,000		4,000	4,000

別記様式

総合整備計画書

岩手県二戸市 沼久保 辺地
 (辺地の人口 73人 面積 6.9k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

野々上字久保、蜂ヶ平、大久保、橋場、林向、上ノ沢、大館、外ノ沢、柳沢、
 金田一字勝負沢、沢田、日ノ沢、神山

(2) 辺地の中心位置

野々上字林向 7 1 番地 1

(3) 辺地度点数 137 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

沼久保辺地は、二戸市中心部から 11km のところにある集落の散在する山間地域である。国道など主要幹線道路につながる市道は 1 路線で、降雪量が多いことから、除雪機械を整備し、冬期間の地域交通を確保する必要がある。また、公共交通路線から距離があるため、移動には自家用車が多く利用されているが、日常生活に不便をきたしており、地域住民の交通手段を確保するために自動車整備の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度 から 令和 7 年度 まで 5 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
除雪機械	二戸市	24,000	16,000	8,000	8,000
自動車	二戸市	4,000		4,000	4,000
合計		28,000	16,000	12,000	12,000

別記様式

総合整備計画書

岩手県二戸市 上海上 辺地
 (辺地の人口 206人 面積 6.9k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

野々上字熊野、荒谷、大久保、野境、潰谷地、油子、落合
 下斗米字月折、外芹沢、土橋

(2) 辺地の中心位置

野々上字潰谷地94番地1

(3) 辺地度点数 173 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

上海上辺地は、二戸市中心部から16kmのところにある集落が散在する山間地域である。

高齢者など交通弱者の移動手段が限られており、高校就学者の通学や高齢者の通院など、地域住民の交通手段を確保するために自動車整備の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3年度 から 令和 7年度 まで 5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
自動車	二戸市	10,000		10,000	10,000
合計		10,000		10,000	10,000

別記様式

総 合 整 備 計 画 書

岩手県二戸市 金田一川 辺地
(辺地の人口 178人 面積 17.2k㎡)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

下斗米字盆野、九縁、芹沢、館ヶ久保、取合岸、牛間木、高鳥谷、牛間館、谷地尻、玉木、鰐内

上斗米字金田一川、外中沢、中沢

(2) 辺地の中心位置

上斗米字金田一川 1 4 5 番地 4 6

(3) 辺地度点数 242 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

金田一川辺地は、二戸市中心部から 26km のところにある集落が散在する山間地域である。幅員が狭小な道路が多く自家用車等の通行に支障をきたしている。

また、冬期間は降雪により、しばしば幅員の確保が困難になることから、地域住民の交通安全確保のため、継続した道路整備ならびに除雪機械の整備を行う必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度 から 令和 7 年度 まで 5 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道	二戸市	273,000	144,690	128,310	128,300
除雪機械	二戸市	24,000	16,000	8,000	8,000
合 計		297,000	160,690	136,310	136,300

別記様式

総合整備計画書

岩手県二戸市 根森 辺地
 (辺地の人口 114人 面積 8.7k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

上斗米字小端、獅子舞森、野月平、子々小沢、平畑、松屋敷、下坂、切明畑

(2) 辺地の中心位置

上斗米字平畑 23番地 1

(3) 辺地度点数 234 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

根森辺地は、二戸市中心部から 24km のところにある集落が散在した山間地域である。高齢者など交通弱者の移動手段が限られており、高校就学者の通学や高齢者の通院など、地域住民の交通手段を確保するために自動車整備の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3年度 から 令和 7年度 まで 5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
自動車	二戸市		4,000		4,000	4,000
合計			4,000		4,000	4,000

別記様式

総合整備計画書

岩手県二戸市 上野 辺地
 (辺地の人口 126人 面積 9.0k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

上斗米字上野、地竹沢

(2) 辺地の中心位置

上斗米字上野69番地481

(3) 辺地度数 182 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

上野辺地は、二戸市中心部から19kmのところにある集落が散在する山間地である。高齢者など交通弱者の移動手段が限られており、高校就学者の通学や高齢者の通院など、地域住民の交通手段を確保するために自動車整備の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3年度 から 令和 7年度 まで 5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
自動車	二戸市		4,000		4,000	4,000
合計			4,000		4,000	4,000

別記様式

総合整備計画書

岩手県二戸市 川代 辺地
 (辺地の人口 133人 面積 7.9k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

上斗米字大畑、本田、大坊、川代、家ノ上、上川代

(2) 辺地の中心位置

上斗米字大畑 5 5 番地 1

(3) 辺地度点数 174 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

川代辺地は、二戸市中心部から 15km のところにある集落が散在する山間地である。高齢者など交通弱者の移動手段が限られており、高校就学者の通学や高齢者の通院など、地域住民の交通手段を確保するために自動車整備の必要がある。

また、消防車両は整備から 20 年以上経過しており、非常時に出動不能といった事態を回避するためにも、早急に更新、整備する必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度 から 令和 7 年度 まで 5 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
自動車	二戸市		4,000		4,000	4,000
消防施設	二戸市		10,000		10,000	10,000
合計			14,000		14,000	14,000

別記様式

総合整備計画書

岩手県二戸市 足 沢 辺地
 (辺地の人口 140人 面積 17.1k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

足沢字長畑、下足沢、苗代沢、館前、下平、蒔前、榎木平、深田、上野、狐森、大平、米内、中渡

(2) 辺地の中心位置

足沢字苗代沢56番地3

(3) 辺地度点数 186 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

足沢辺地は、二戸市中心部から16kmのところにある山あいには散在した農林畜産業を主産業とした集落で形成される辺地である。これまで、幹線道路等の整備を進めてきたが、依然として狭隘で急勾配の道路も多く、また降雪によりしばしば幅員の確保が困難になることから、地域住民の交通安全確保のため、道路整備ならびに除雪機械の整備を行う必要がある。

また、消防車両は整備から20年以上が経過しており、非常時に出勤不能といった事態を回避するためにも、早急に更新、整備する必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3年度 から 令和 7年度 まで 5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
市道	二戸市		286,000	151,580	134,420	134,400
除雪機械	二戸市		24,000	16,000	8,000	8,000
消防施設	二戸市		10,000		10,000	10,000
合計			320,000	167,580	152,420	152,000

別記様式

総合整備計画書

岩手県二戸市 山田 辺地
 (辺地の人口 54人 面積 6.4k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

福田字家ノ上、狼久保、馬立、鳥越久保、八前、太田、笹森、馬場塚、鍋倉、中沢、大倉、細久保、福田久保、糶久保、日影久保、七百久保、クミヤ久保、西久保、仲口、前田、孫助、大久保、於會久保、真田久保、室久保、栗谷久保、小細沢、小池久保、駒木沢、山久保、大沢、月山ノ下、西ノ平、山室、栃ノ久保、大久保越似鳥字檜館、桜久保、筋久保、沢内、青ノ久保、小松久保

(2) 辺地の中心位置

福田字西久保4番地2

(3) 辺地度点数 163 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

山田辺地は、二戸市中心部から 14km のところにある山あいには散在した集落で形成される辺地である。高齢者など交通弱者の移動手段が限られており、高校就学者の通学や高齢者の通院など、地域住民の交通手段を確保するために自動車整備の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度 から 令和 7 年度 まで 5 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
自動車	二戸市		4,000		4,000	4,000
合計			4,000		4,000	4,000

総合整備計画書

岩手県二戸市 山内 辺地
 (辺地の人口 81 人 面積 21.09k㎡)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
山内、湯沢
- (2) 辺地の中心の位置
二戸市浄法寺町山内 26 番地 1
- (3) 辺地度数点 193 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

山内辺地は、旧浄法寺町の中心地から 9 km のところにある農林業を主体とした辺地である。集落への定期交通機関もなく、日用品の買い物、通院、高校通学等は自家用車利用であり、日常生活に不便を来している。特に、学校統合により通学距離が長距離であることから、通学を容易にするための自動車整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度 から 令和 7 年度 まで 5 年間

(単位 千円)

施設名	区分 事業 主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業 債の予定額
			特定財源	一般財源	
通学施設	二戸市	10,000		10,000	10,000
合	計	10,000		10,000	10,000

総合整備計画書

岩手県二戸市 上杉沢 辺地
 (辺地の人口 60人 面積 12.15 km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
野黒沢、小杉沢、遠岸、袖ノ沢、季ヶ平、上杉沢、深堀
- (2) 辺地の中心の位置
二戸市浄法寺町上杉沢 3 番地 1
- (3) 辺地度点数 174点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

上杉沢辺地は、旧浄法寺町の中心地から 5.1 km のところにある農林業を主体とした辺地である。集落への定期交通機関もなく、買い物や通院、高校通学等は自家用車を利用している。さらに、冬期間は積雪も多く、日常生活に不便をきたしていることから、地域交通確保のための除雪機械の整備が必要である。また通学距離も長距離であることから、通学を容易にするための自動車整備の必要がある。

このほか、当地域はレクリエーションエリアと位置づけられており、地域間交流を中心とした地域活性化を図るため、稲庭交流センターやパークゴルフ場などの観光・レクリエーション施設の整備改修が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度 から 令和 7 年度 まで 5 年間

(単位 千円)

施設名	区分 事業 主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
観光・レクリエーション施設	二戸市	200,000		200,000	200,000
除雪機械	二戸市	30,000	20,000	10,000	10,000
通学施設	二戸市	10,000		10,000	10,000
合計		240,000	20,000	220,000	220,000

総合整備計画書

岩手県二戸市 川又 辺地
 (辺地の人口 346 人 面積 25.58 km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
 手倉森、鏡田、馬洗場、下沢、大平、小平、本郷、北村、川又、八方口、上谷地、中平、大久保、長坂、
- (2) 辺地の中心の位置
 二戸市浄法寺町漆沢大久保 86 番地 1
- (3) 辺地度点数 174 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

川又辺地は、旧浄法寺町の中心地から 8 km のところにある農林業を主体とした辺地である。集落への定期交通機関もなく、日用品の買い物、通院、通学等は自家用車利用であり、日常生活に不便を来している。山間地のために電波障害があり、積雪も多いため、住民の健康を守り、生活環境整備、農林業振興、生活文化の向上のために、除雪機械の整備が必要である。

また、学校統合により通学距離が長距離となることから、通学を容易にするための自動車整備の必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度 から 令和 7 年度 まで 5 年間

(単位 千円)

施設名	区分 事業 主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
除雪機械	二戸市	24,000	16,000	8,000	8,000
通学施設	二戸市	10,000		10,000	10,000
合 計		34,000	16,000	18,000	18,000

総合整備計画書

岩手県二戸市 梅ノ木 辺地
 辺地の人口 262 人 面積 16.16k㎡)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
 梅ノ木、漆原、館、伊崎沢、田子内沢、山居沢、里川目
 大志田、一反田、森越、安戸
- (2) 辺地の中心の位置
 二戸市浄法寺町森越 17 番地 3
- (3) 辺地度数点 191 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

梅ノ木辺地は、旧浄法寺町の中心地から 7 km のところにある農林業を主体とした辺地である。集落への定期交通機関もなく、日用品の買い物、通院、通学等は自家用車利用であり、日常生活に不便をきたしている。また、学校統合により通学距離が長距離となることから、通学を容易にするための自動車整備の必要がある。

このほか、消防車両は整備から 20 年以上が経過しており、非常時に出勤不能といった事態を回避するためにも、早急に更新、整備する必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度 から 令和 7 年度 まで 5 年間

(単位 千円)

施設名	区分 事業 主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
通学施設	二戸市	10,000		10,000	10,000
消防施設	二戸市	10,000		10,000	10,000
合	計	20,000		20,000	20,000